

答 農地中間管理機構に一本化されるので、市による農地売買の取り扱いはできない。

(3/9 総務産業委員会)

議案 No.10

放課後児童支援員の基準

問 経過措置の期限を定めず「当分の間」とした理由は。

答 全ての児童クラブに研修修了者を均等に配置できない場合が考えられるため。

問 支援員認定資格研修の未受講者に対する支援策は。

答 研修の材料費や交通費の支給及び研修時間を勤務扱いとしている。

(3/9 文教厚生委員会)

議案 No.11

子どもの入院に係る医療費の助成

問 高校生等への医療費支給を入院費のみとした理由は。

答 入院にかかる医療費は通院と比べ高額であり、経済的負担の軽減を図るため。

問 支給を償還払いとした理由は。
答 申請者数を年間約80件と見込んでおり、費用対効果を考慮した。

(3/9 文教厚生委員会)

議案 No.13

市営住宅の債権等の改正

問 市営住宅の金銭徴収額の算定方法は。

答 毎月の家賃に支払期後、納期の翌日を適用日として、その時点の利率により利息を付す。

問 この条文からでは、算定方法が読み取りにくいと思うが。

答 条例によらないところは、民法が適用されるが、条例施行前に生じた債権は「法定利率」となる。

(3/9 総務産業委員会)

議案 No.17

公共下水道田原浄化センター改築工事の協定金額変更

問 協定金額変更の内容は。

答 汚泥量が少なかったため、汚泥の抜き取りに要する仮設費及び汚泥処理費、電気工事等の積算単価の見直し及び精査により減額となった。

問 当初協定金額より2割以上の減額であるが、積算方法は適切であったのか。

答 稼働中の施設は目視による確認ができない場所が多いため、数量を

想定して設計を行い、工事の過程で精査、設計の変更を行っている。
(3/9 文教厚生委員会)

令和2年度予算審査

議案 No.25 一般会計

高齢者の安全運転を支援

問 高齢者安全運転支援装置設置促進補助金の利用見込みは。

答 障害物検知機能があるものとないたもの各120台で、計240台分。

問 後づけ緊急抑制装置装着の対象は。

答 車検証記載の利用者が65歳以上で、かつ自家用に限る。

問 地元のモーターズでも装着可能か。

答 認定製品の取扱店となれば取り扱いてるので、取扱店を増やしていきたい。

ふるさと納税を推進

問 ふるさと応援寄附金の歳入見込み1億円の根拠は。

答 令和元年度の実績を基に1億円を計上したが、より多くの寄附を集めることを目標としている。

問 新たな返礼品はあるか。

答 アサリ、アオサ、ジェラート等がエントリーしている。

問 もうかるめどは立っているか。

答 全国から寄附を集めることができずる事業であり、財源確保とシティセールスという二つの意味がある。

問 新たな6次産業品目も必要では。

答 地場産品も6次産業品も当然必要。今から進めていきたい。

各種証明書のコンビニ交付

問 各種証明書のコンビニ交付事業の利用見込みは。

答 年間600件程度を想定している。

問 コンビニ交付サービスに必要なマインバーカード普及の方策は。

答 申請用顔写真の無料撮影、時間外窓口でのカード交付等を予定している。マイナポイント取得、健康保険証利用等の利点やカードの安全性を周知していく。

